

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第25週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は789人（定点あたり23.0）で、前週比101%と横ばいであった。

前週に比べ増加した主な疾患は、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症、伝染性紅斑、水痘であった。

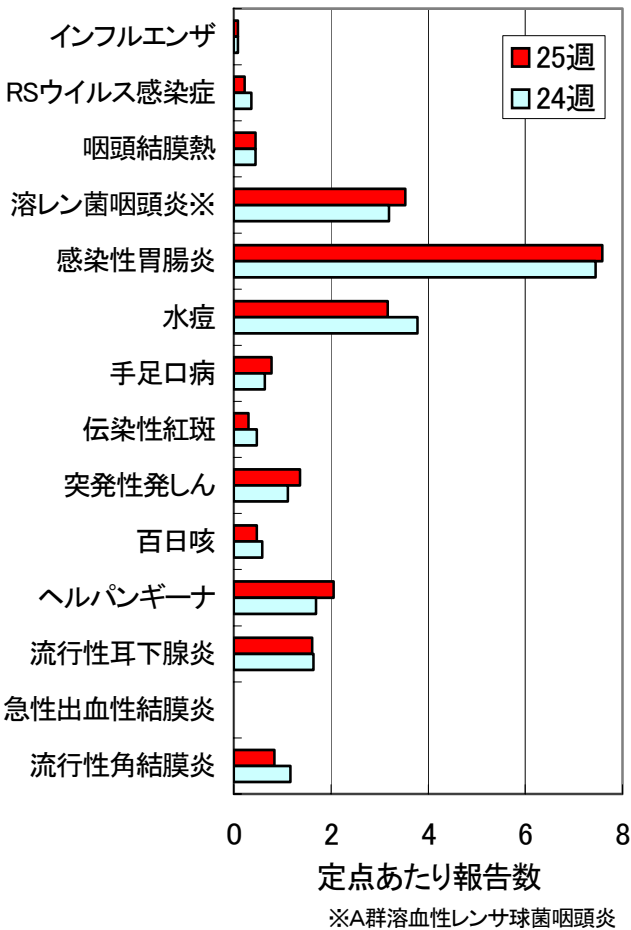
ヘルパンギーナの報告数は74人（2.1）で前週比121%と増加したが、例年同時期の定点あたり平均値（4.0）の約5割と少ない。日南（4.7）保健所からの報告が多く、年齢別では1歳と2歳で全体の約7割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は127人（3.5）で前週比110%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（3.0）と比較すると約1.2倍である。日向（8.0）、延岡（7.0）保健所からの報告が多く、年齢別では3歳から6歳で全体の約6割を占めた。

その他、マイコプラズマ肺炎1人が延岡保健所から報告された。患者は13歳の男子。

クラミジア肺炎3人が高鍋保健所から報告された。患者は全て2歳以下で、原因菌は *Chlamydia pneumoniae* であった。

《前週との比較》



□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年 齢 分 布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8	3.5	日向(8.0)	3歳から6歳で全体の約6割を占めた。
百日咳	1	0.5	延岡(2.8)、高鍋(1.5)	5歳以下が11人、6-9歳・10-14歳がそれぞれ3人であった。
流行性耳下腺炎	6	1.6	延岡(7.0)	2歳から6歳で全体の約8割を占めた。

■ 全数把握対象疾患

1 類感染症： 報告なし。

2 類感染症： 結核 3 例が宮崎市（1 例）、都城（2 例）保健所から報告された。

《宮崎市保健所》80 歳代の男性でその他の結核（結核性胸膜炎）。発熱、呼吸困難がみられた。

《都城保健所》・70 歳代の男性でその他の結核（結核性（左）胸膜炎）。咳、発熱、胸痛がみられた。

・80 歳代の男性で肺結核。発熱がみられた。

3 類感染症： 報告なし。

4 類感染症： 報告なし。

5 類感染症： 梅毒 1 例が宮崎市保健所から報告された。40 歳代の男性で早期顕症梅毒（Ⅱ期）。陰部潰瘍がみられた。

■ 病原体情報（衛生環境研究所 微生物部）

☐ 細菌（平成 21 年 6 月 23 日までに分離同定）

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床診断名等	分離材料	分離同定日
<i>Bordetella pertussis</i> （百日咳菌）	0～4	女	6.1	気管支炎、咳、レブリーゼ、スタカート、無呼吸発作	鼻汁	6.18
<i>Salmonella</i> Typhi (O4:d:-)	30代後半	男	5.8	発熱(40.0℃)、関節痛、下痢、嘔吐	便、血液	6.8
<i>Salmonella</i> Saintpaul (O4:e,h:1,2)	0～4	男	6.2	発熱(39.8℃)、血便、腹痛	便	6.9
<i>Salmonella</i> Enteritidis (O9:g,m:-)	20代後半	男	6.3		便	6.15
<i>Salmonella</i> Saintpaul (O4:e,h:1,2)	0～4	男	6.5		便	6.15
<i>Salmonella</i> Enteritidis (O9:g,m:-)	5～9	女	6.15		便	6.23

☐ ウイルス 報告なし。

■ 全国第 24 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 13.2 で、前週比 97%と横ばいであった。今週増加した主な疾患はヘルパンギーナ、手足口病、水痘で、減少した疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

ヘルパンギーナの報告数は 876 人（0.29）で、前週比 153%と増加したが、例年同時期の約 2 割と少ない。宮崎県（1.7）、三重県（1.2）、大分県（1.0）からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳で全体の約 8 割を占めた。

手足口病の報告数は 822 人（0.27）で、前週比 129%と増加したが、例年同時期の約 3 割と少ない。佐賀県（2.0）、福岡県（1.7）、大分県（1.3）からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 3 歳で全体の約 7 割を占めた。

水痘の報告数は 5,559 人（1.8）で、前週比 114%と増加したが、例年同時期の約 8 割である。宮崎県（3.8）、福岡県・長野県（2.9）、山形県（2.7）からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 5 歳で全体の約 8 割を占めた。

□全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 331 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 2 例、腸管出血性大腸菌感染症 59 例、腸チフス 1 例
- 4 類感染症 : E 型肝炎 1 例、A 型肝炎 5 例、オウム病 2 例、Q 熱 1 例、つつが虫病 4 例、日本紅斑熱 1 例、レジオネラ症 13 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 5 例、ウイルス性肝炎 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3 例、後天性免疫不全症候群 13 例、ジアルジア症 1 例、髄膜炎菌性髄膜炎 1 例、梅毒 14 例、破傷風 1 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、風しん 2 例、麻しん 9 例

■ インフルエンザ情報

□ 新型インフルエンザ患者発生状況

平成 21 年 6 月 17 日宮崎県内で新型インフルエンザ患者の発生が確認された。6 月 24 日までに宮崎県内で確認された患者（確定例）は 11 名となった。

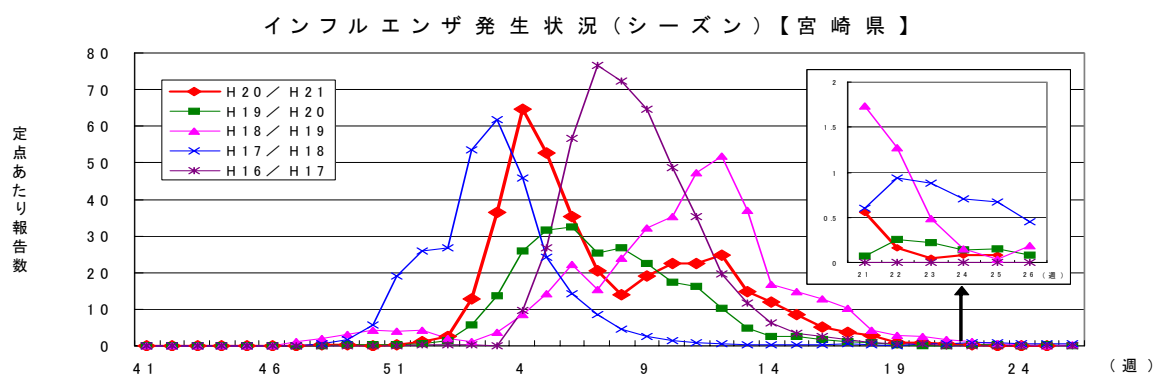
全国では 24 日 11 時現在、36 都道府県で 933 名の患者が確認されている。

宮崎県内の発生状況

発生日	報告数
6月17日	1
6月18日	1
6月19日	1
6月20日	1
6月21日	5
6月23日	1
6月24日	1
計	11

□ 季節性インフルエンザ患者発生状況

【宮崎県】平成 21 年 6 月 15 日～6 月 21 日（第 25 週）の定点医療機関からの報告数は 5 人（定点あたり 0.08）で前週と同数であった。過去 5 年間の同時期定点あたり平均値（0.18）の約 4 割である。宮崎市・高鍋保健所からの報告で、年齢別では全て 10 歳未満であった。



【全国】平成 21 年 6 月 8 日～6 月 14 日（第 24 週）の報告数は 1,377 人（定点あたり 0.29）で、前週と比べ 71%と減少した。過去 5 年間の同時期定点あたり平均値（0.25）と比較するとほぼ同程度である。沖縄県（8.5）、鹿児島県（0.92）、山口県（0.75）からの報告が多く、年齢別では、5 歳以下が全体の 21%、6-9 歳が 26%、10-14 歳が 28%、15-19 歳が 7%、20 歳以上が 18%を占めた。

宮崎県 感染症情報 (72定点医療機関)

2009年 第25週 (06月15日～06月21日)

疾病名		第24週	第25週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	5	5	3					2			
	定点あたり	0.08	0.08	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	13	8			8						
	定点あたり	0.36	0.22	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	16	16		4	2	8		1		1	
	定点あたり	0.44	0.44	0.00	0.67	0.50	2.67	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	115	127	22	9	28	10	8	17		32	1
	定点あたり	3.19	3.53	2.44	1.50	7.00	3.33	2.67	4.25	0.00	8.00	0.50
感染性胃腸炎	報告数	268	273	36	66	19	28	46	25	14	34	5
	定点あたり	7.44	7.58	4.00	11.00	4.75	9.33	15.33	6.25	14.00	8.50	2.50
水痘	報告数	136	114	26	20	15	4	7	19		16	7
	定点あたり	3.78	3.17	2.89	3.33	3.75	1.33	2.33	4.75	0.00	4.00	3.50
手足口病	報告数	23	28	6	12		6	1	3			
	定点あたり	0.64	0.78	0.67	2.00	0.00	2.00	0.33	0.75	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	17	11	9	1				1			
	定点あたり	0.47	0.31	1.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	40	49	11	8	9	3	3	11		3	1
	定点あたり	1.11	1.36	1.22	1.33	2.25	1.00	1.00	2.75	0.00	0.75	0.50
百日咳	報告数	21	17			11			6			
	定点あたり	0.58	0.47	0.00	0.00	2.75	0.00	0.00	1.50	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	61	74	8	20	8	14	6	14		1	3
	定点あたり	1.69	2.06	0.89	3.33	2.00	4.67	2.00	3.50	0.00	0.25	1.50
流行性耳下腺炎	報告数	59	58	5	7	28		8	2		8	
	定点あたり	1.64	1.61	0.56	1.17	7.00	0.00	2.67	0.50	0.00	2.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	5	1	3	1						
	定点あたり	1.17	0.83	0.33	1.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1			1						
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数		3						3			
	定点あたり	0.00	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2009年第1週～第25週)

2類感染症	結核	124例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4例	腸チフス	1例		
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	7例	日本紅斑熱	4例
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	6例
	ジアルジア症	1例	梅毒	4例(1)	破傷風	2例
	風しん	2例				

()内は今週届出分、再掲